

平成 26 年度第 1 回静岡県河川審議会での主な委員意見について

分類	No.	委員意見
治水	①	平成 3 年の豪雨に代表されるように、下流域で雨が少なく、中上流部の山間地で被害がでるケースは、近年の局地的な豪雨によりその傾向が強まると思われる。
	②	急斜面地であるため、土石流や斜面崩壊等の土砂災害も懸念される。治水に合わせて土砂災害に対する対策を同時に検討していくことが必要ではないか。
	③	斜面崩壊は砂州等の材料を供給している面もあり、土砂供給と防災を両立するように検討していただきたい。
利水	④	下田は観光を中心としている。これからのまちづくりもやはり観光抜きには考えられないと思う。流域における観光資源と河川の関係を表現してほしい。
環境	⑤	海とのつながりが重要なポイントであるので、津波対策水門の検討の際には、治水だけでなく、土砂や生物の移動性などの環境面も考慮していただきたい。